



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

褥瘡のための滲出液量計算チャート

ESTimation法 使い方ガイド ~User's guide~

For

より正確な
滲出液量
の評価

For

定量的な
滲出液量
の記載

For

湿潤環境を
保つための
創傷被覆材
の選択

ESTimation法とは・・・

DESIGN-R®を用いて、滲出液量をml単位で
推定（estimation）する方法です

○東京大学大学院医学系研究科
老年看護学／創傷看護学分野

1

評価手順

How to evaluate

- 創洗浄後、DESIGN-R®を採点します。
- 下記の項目を評価しながら、チャートの上から下に進みます。
 - 1) 目安の滲出液量 E
 - ガーゼや被覆材から滲出液量Eが「e」か「E」に分けます。
 - 2) 創サイズ S
 - 「s6以下」「s8」「s9以上」に分けます。
 - 3) 全体の重症度 T
 - 合計点が「22点未満」「22点以上」または「44点未満」「44点以上」に分けます。
- 辿り着いたボックスが1日の推定量です。
- 推定量を目安に、各クラスの創傷被覆材・外用薬の種類を選択し、使用する量・大きさ・枚数や交換頻度を決定します。

さらに…

- 量以外の粘稠度やにおい、色も合わせて評価します。
- 滲出液の量・状態は定期的／ケアの度に評価します。

2

注意点 & 利用規約

Instructions

- この推定値には必ず誤差が伴います。同じクラスでも、全身状態や水分バランス、時間帯、創の部位など様々な要因のために実際の値はバラツキます。
 - ボックス下の95%信頼区間を誤差の目安としてください。
- ケア用品分類は、推定量のみを基準にした目安です。必ず、実際の創面や被覆材の状況と合わせてご使用ください。
- 本チャートは臨床使用を想定した簡易モデルです。学術目的など、より正確な量の推定が必要な場合、引用元の文献をご参照ください。
- 褥瘡以外の慢性創傷に対する妥当性は現時点では検証されておりません。
- データの蓄積や新たなケア用品の登場により、今後バージョンを変更することがあります。

利用規約

- 本チャートの著作権は東京大学大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学分野に帰属します。
- 臨床現場でのケア、教育目的での使用にはご自由に複製してお使いください。
- 商用、出版物への掲載、学術研究目的の使用に際しては予めご連絡ください。
- 無断でのチャートの改変を禁じます。

Iizaka S, Sanada H, Nakagami G, Koyanagi H, Konya C, Sugama J. Quantitative estimation of exudate volume by a clinical wound assessment tool (DESIGN-R) for full-thickness pressure ulcers: the ESTimation method. J Wound Care 2011;20(10):453-63.